

# 家庭での取り組みが被害を最小限にとどめます！

東日本大震災では、避難所で生活していなかで女性や子ども、高齢者や障がい者への対応について課題が浮き彫りになりました。そこで市川市では、避難所の運営や災害への備え等について、改めて**女性の視点から再検証**するため、女性職員によるプロジェクト（BJ☆Project）で訓練・研究を重ね、**新たな防災施策**を市長へ提言いたしました。その代表的なものをご紹介します。

## 【課題】

本市の特性として、**木造住宅が密集**しており、万が一、大地震が発生した場合には、**火災の延焼が広がりやすい**状況にあります。シミュレーションでは約6,000棟が延焼する想定となっています。主な原因としては、**電気機器の出火**となっています。



参照)内閣府・消防庁・経済産業省

### 分電盤タイプ(内蔵型)

費用：約5～8万円(標準的なもの)

※電気工事が必要

分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。



### 分電盤タイプ(後付型)

費用：約2万円

※電気工事が必要

分電盤に感震機能を外付けするタイプで、センサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。

※漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能



参照)内閣府・消防庁・経済産業省

そこで...

**感震ブレーカー**が有効です！

感震ブレーカーは、地震発生時に揺れを感知して自動的に電気を止める器具です。

1件の電気火災が、広範な被害につながりますので、事前防止策はとても重要です。

## あんしん住宅助成制度

市川市では、お住まいの住宅に感震ブレーカーの設置など、防災性を向上させる改修工事を市内の施工業者を利用して行う場合に、その費用の一部を助成します。

詳しくは市川市 街づくり部 街づくり推進課までお問い合わせください。(712-6327)



【お問い合わせ先】市川市 危機管理室 危機管理課 (712-8563)

# 家庭での取り組みが被害を最小限にとどめます！



## 【課題】

大規模災害では、公共交通機関が麻痺し、道路が閉塞されることで足止めされます。また、しばらくの間は物資の供給も困難となります。いつ発生するか分からない災害に対しては、**常日頃から備え**ておく必要があります。



災害はいつ・どこで遭遇するか分かりません。そこで・・・  
**防災ポーチ**が有効です！

防災ポーチは、災害時に必要と思われる最低限の物資を入れ、携帯するものです。下記の例を参考に、是非、自分に必要なものを考えて、用意してみてください。

### 防災ポーチの具体例

日用品	非常用
①生理用品等	⑪裁縫セット
②ハンカチ	⑫メモ
③ヘアゴム	⑬絆創膏
④常備薬	⑭ウエットティッシュ
⑤小銭	⑮小型LEDライト
⑥飴などの非常食	⑯油性マジック
⑦インタクトレズ	⑰カイロ
⑧笛	⑱マスク
⑨携帯用トイレ	
⑩レジ袋	
10点190g	9点400g
ポーチを含めて 計630g	

